

学長の任期中の業績評価結果

令和8年3月19日
国立大学法人高知大学
学長選考・監察会議

国立大学法人高知大学学長選考等規則第14条第2項の規定に基づき、受田浩之 学長の任期中の業績評価を行いましたので、その結果を公表します。

1. 評価の経過

第66回学長選考・監察会議（令和7年6月19日）

学長の業績評価実施要項及び学長の業績評価実施手順書について審議

第67回学長選考・監察会議（令和7年9月25日）

学長の業績評価実施要項（別添）及び学長の業績評価実施手順書を決定

第68回学長選考・監察会議（令和8年1月22日）

学長に対しヒアリングを実施

監事から意見を聴取

委員の合議により評価結果を確定

第69回学長選考・監察会議（令和8年3月19日）

公表資料を確定

2. 評価結果

学長の業務の執行状況について、

選考時の所信表明書に記載された、課題についての見解・方針に書かれた取組みが、着実に実施されている

と認められる。

法人の業務の執行状況について、

法人の業務の実施状況について、中期計画を着実に実施していると認められる。

総合評価として、

学長の業務が適切に執行されていると認められる。

(所見)

国立大学法人高知大学学長選考・監察会議は、国立大学法人高知大学学長選考基準における「求められる人材像」を踏まえ、学長選考時に提出された所信表明書、中期計画の進捗に関する自己点検・評価の結果並びに学長に提出を求めた学長の業務の執行状況に関する報告書及び法人の業務の実施状況に関する報告書に基づき、学長に対しヒアリングを行い、業務の執行状況を確認し、監事から意見を聴取した上で、

上記のとおり評価した。

学長のリーダーシップのもとで、SRUキャラバンの実施や「学長のおごり自販機」の設置などにより学内のコミュニケーションの促進を図りながら、経営戦略会議での「高知大学グランドデザイン2040」の検討、開設10周年を迎えた地域協働学部の改組に向けた検討、「I o Pプロジェクト」や「しまのぼプロジェクト」の推進、i³kの立ち上げ、75周年記念事業の実施やその後の校友会活動の本格化、KOCHI未来会議の設置、寄附者とのコミュニケーションの充実による寄附金額の拡大など、選考時の所信に記載された取組と中期計画等に記載された、地域を支え、地域を変えることができる大学を目指す取組が着実に進められていると認められる。

今後、これまでの取組の継続・発展に加えて、高知大学の重要課題にさらに抜本的に取り組むよう、一層のリーダーシップの発揮を期待する。

具体的には、18歳人口の減少に伴い、大学進学率が上昇しても大学進学者数が減少する局面に突入すると予測された2026年を迎え、大学が大きな転換点にある中で、高知大学が直面する困難を乗り越えて存続・発展していくためには、これまでの取組の延長上にとどまらず、教育研究や業務運営のあり方まで踏み込んだ、思い切った取組が求められる。

そのために、検討が進められている「高知大学グランドデザイン2040」などにおいて、高知大学が、その歴史や特色を踏まえ、今後どういった人材を育成し、どのような機能を果たしていくのか、それに向けてどのように取り組んで行くのかを明らかにするとともに、個々の部局、個々の活動の中に落とし込むことを期待する。それは抽象的なビジョンにとどまらず、大学として本気で達成しようとする具体的な目標と、目標達成に向けて各部局、各構成員が実施を担う実行計画として策定され学内のステークホルダーに共有される必要があるだろう。

3. 学長選考・監察会議の構成員（◎は議長）

経営協議会学外委員

- ◎岩瀬 公一（元国立大学法人東北大学理事）
- 河合 雅司（一般社団法人人口減少対策総合研究所理事長）
- 北 泰子（高知機型工業株式会社 取締役副社長）
- 野並 誠二（医療法人野並会 理事長）
- 柳原 直人（株式会社たすきづな 代表取締役）
- 夕部 哲也（高知大学同窓会連合会 会長）

教育研究評議会評議員

- 岩佐 和幸（人文社会科学部長）
- 小島 郷子（教育学部長）
- 岡本 竜（理工学部長）
- 井上 啓史（医学部長）
- 枝重 圭祐（農林海洋科学部長）
- 内田 純一（地域協働学部長）

国立大学法人高知大学学長の業績評価実施要項

平成 28 年 7 月 6 日

学長選考会議決定

改正 令和元年 9 月 26 日 学長選考会議決定

改正 令和 4 年 9 月 22 日 学長選考・監察会議決定

改正 令和 7 年 9 月 25 日 学長選考・監察会議決定

国立大学法人高知大学学長選考・監察会議（以下「学長選考・監察会議」という。）は、国立大学法人高知大学学長選考等規則第 14 条第 2 項の規定に基づき、次のとおり学長の任期中の業績について評価を行う。

I. 趣旨

学長選考・監察会議は、学長選考の適正性を担保するとともに、選考を一過性のものとしないう、学長がその業務を適切に執行しているか、選考時の判断を踏まえて評価する。なお、国立大学法人高知大学の全構成員の協力を得て、学長がリーダーシップを発揮し円滑に業務運営を遂行することを支援するため、業績評価結果については公表する。

II. 実施時期

学長の任期が 4 年の場合は在任 2 年目の末までに、任期 2 年（再任）の場合は 1 年目の末までに実施する。

III. 実施方法

学長選考・監察会議は、国立大学法人高知大学学長選考基準における「求められる学長像」を踏まえ、次に掲げる資料に基づき学長に対しヒアリングを行い業務執行状況の確認を行う。その際、監事に出席を求め、意見を聴くものとする。

- (1) 学長選考時に提出された所信表明書
- (2) 国立大学法人評価委員会の評価を受けた業務の実績があるときは当該実績並びに中期計画の進捗に関する自己点検・評価の結果があるときは当該結果
- (3) ヒアリングに先立ち学長から提出を受ける次の資料
 - ・学長の業務の実施状況に関する報告書（別紙様式 1）
 - ・法人の業務の実施状況に関する報告書（別紙様式 2）
- (4) その他学長選考・監察会議が必要と認める書類

IV. 評価結果の通知及び公表

学長選考・監察会議は、業績評価結果を学長に通知するとともに本学公式ホームページ及び学内掲示板に公表する。

V. 支援及び助言

学長選考・監察会議は、恒常的な学長の職務の遂行状況の確認として行われる業績評価の結果を踏まえ、必要があると認める場合は、学長に対して支援及び助言を行う。

学長の業務の実施状況に関する報告書
(年 月～ 年 月)

1 高知大学の使命と理念、基本的な課題と経営姿勢・方針について

2 社会との共創について

3 教育について

4 研究について

5 業務運営・財務内容等に関する事項

現任期中の学長自らの業務の実施状況（所信表明書に記載した事項の実現に向けた自らの取組）について、所信表明書に記載した見解・方針と照らして、具体的に記載して下さい。具体化のための検討や実施の中で、具体的な取組みとしては見直しが必要と判断した方針などがあれば、そのように判断した理由や変更の方向等についてあわせて記載して下さい。記載枠は、記載量に応じ、適宜枠を伸縮して下さい。

法人の業務の実施状況に関する報告書
(年 月～ 年 月)

社会との共創に関する事項
教育に関する事項
研究に関する事項
その他（共同利用・共同研究拠点、附属病院）の事項
業務運営・財務内容等に関する事項

現任期中の、中期計画に照らした法人の業務の実施状況について、学長として特に重要と考える点についてのみ箇条書きで記載して下さい。また、法人の中期計画の内容を修正したところがあれば明記して下さい。記載枠は、記載量に応じ、適宜枠を伸縮して下さい。